

教育目標		「げんきに かがやけ さくらっこ」(か)考える子 (が)頑張る子 (や)優しい子 (け)健康な子 園児、地域の実態を踏まえ、家庭、地域との連携を大切にしながら、様々な体験を通して、心身の調和のとれた、心豊かでたくましい子どもの育成を目指す											
前年度に残された課題		本年度の重点課題				来年度に残された課題							
<p>○教育の質の向上 命の大切さを理解する取組・バランスの取れた教育活動・職員研修の工夫</p> <p>○行事の精選 時期、期間、規模などを見直し、効果的なあり方を探る。</p> <p>○保護者との連携 幼児期の発達や友達関係の変容の理解と課題の共有</p>		<p>①年間を通して、運動遊びや鬼ごっこに取り組み、身体を動かして遊ぶことが好きな子どもを育てる。</p> <p>②各学年約10種類の野菜の栽培と調理活動を通して、食べることへの意欲や興味、関心を高める。</p> <p>③バランスのとれた教育活動を進める。</p> <p>④園内研修会の持ち方を工夫し、指導力の向上に努める。</p> <p>⑤保護者に教育内容や健康管理などについて、わかりやすい情報発信に努める。</p> <p>⑥保育を参観・参加する機会を適切に設ける。</p> <p>⑦地域の教育力を教育活動に活かす。</p> <p>⑧子育て支援活動を適切に行う。</p>				<p>1. 食育活動の推進 3年間を見通して、各学年の幼児の発達段階に応じた活動内容を位置づけ、経験を積み重ねていくようにする。</p> <p>2. 親子体操の持ち方の改善 職員担当と外部講師担当の回のそれぞれの特色を打ち出す。参加しやすい体制作りのため、託児ボランティアを増やす方を工夫する。</p> <p>3. 運動遊びの推進 放課後体操教室の開始を試みる。</p> <p>4. 自発活動の充実 戸外遊びと共にいろいろな遊びができるよう、室内環境も工夫し、季節やクラス・幼児の様子に応じた環境構成を行う。</p> <p>5. 未就園児の子育て支援の充実 園庭(保育室)開放、自由参観の見学の機会を増やす。その周知の方法を工夫する。</p>							
具体的達成目標と評価指標		自己評価		外部アンケート		自己評価		学校関係者評価					
重点課題番号	具体的に、何を、いつまでに、どの水準まで、数値化	評価	中間評価		児童生徒アンケートからの分析		保護者アンケートからの分析		評価	最終評価		評価者人数 7人	
	公表日 4/14./15.16		評価日	評価日	評価日 2月3日	評価日 2月29日	評価日 2月29日	評価日 2月29日					
	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ		公表日	公表日	公表日 3月2日	公表日 3月26日	公表日 3月26日	公表日 3月26日					
	<input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input checked="" type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他		公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他	公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他		公表方法 <input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> 文書配布 <input type="checkbox"/> 説明会実施 <input type="checkbox"/> その他			
1	身体を動かして遊ぶことが好きな子を育てる (年少)サーキット遊び・固定遊具・三輪車・ころがしドッジボール・簡単な鬼ごっこ (年中)長縄・ジャンケン遊び・中あて・鬼ごっこ(ふやし鬼・サイコロ鬼・氷鬼・ひょうたん鬼など) (年長)巧技台・ドッジボール・サッカー・長縄・跳び箱・鉄棒・雲梯・鬼ごっこ(色鬼・巴鬼・かぎ鬼・氷鬼など)				日曜参観や、年長の1月の参観では、毎年、体力測定や鬼ごっこを親子で取り組み、子どもの身のこなしや、喜んで運動遊びをする様子を保護者も感じ取ってもらっている。いろいろな遊びを通して、身体を使って遊ぶことが好きになったと各学年の保護者から意見があり、成果は上がっていると感じる。	A	自園の特色として取り組んでから7年目になり、園児も毎年、上の学年の日々の遊びの様子を目にしていることで、戸外で体を動かして遊ぶことが日常的になっている。また見ることによって楽しさや魅力を感じ、自分たちもそんな風になれるというイメージが持て、自然と運動遊びが盛んになる面もある。教師も取組に慣れ、毎年の積み重ねで指導も円滑に進んでいると思われる。異年齢の鬼ごっこ遊びも盛んに持つことができたことは今年の成果と思う。		このままでよいのではないか。				

2	<p>野菜の栽培と調理活動を行い、食への意欲や興味関心を高める。</p> <p>(年少)5種類:ナスビ・キュウリ・カボチャ・ハツカダイコン・ウスイエンドウ (年中)6種類:ウスイエンドウ・トウモロコシ・トマト・ダイズ・サツマイモ・カブ (年長)7種類:イチゴ・フシトウガラシ・ゴマ・ジャガイモ・ダイコン・タマネギ・ラッカセイ</p>			<p>野菜の栽培と調理活動は、大変好評で、もっと回数を増やしてほしいという声もある。自分で育てて作って食べると、嫌いな野菜も違って感じるようで、発見や気づきもたくさん生まれ、家庭での会話や食生活にも反映しているようだ。幼稚園の集団生活で、この活動を行うことの意味を感じる。</p>	A	<p>昨年に取り組んだ野菜の中で、幼児には育てにくかったり、わかりにくかったりしたものは精選し、種類は少し減ったが、旬の味や印象的な成長、調理方法で、より効果的になったと思う。</p>	<p>このままでよいのではないか。</p>
3	<p>バランスのとれた教育活動を進める 特色である運動遊びと食育に偏らず、室内遊びや制作、音楽活動、人とのふれあいなど幅広い園生活を構成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週1回学年会、毎月1回学年主任会を持ち、保育内容を検討する。</li> <li>・毎学期、保育園、小学校、老人クラブ、スクールボランティアさんとの交流の機会をもつ。</li> </ul>			<p>家庭ではできないような活動、親も経験したことがないことを経験できる喜びや、集団生活の楽しさを知って、子どもが成長したと感じていたり、幅広い経験ができて様子を話してくれるのが楽しみという保護者も多く、いろいろな取組の必要性を改めて感じる。</p>	A	<p>どうしても大きな行事の前にはそれに向けての練習ばかりになってしまふことと、年長に行事が多くなってしまふことが毎年の課題だが、各学年に応じたねらいをもっていることと、学年会、学年主任会をこまめにもつたことで、活動内容を検討し、より効果的に進めていけるようになってきた。</p>	<p>運動会や音楽会などの行事では、すべての学年の活動を見ることができ、3年間の成長がよくわかった。それぞれの学年で、日頃からねらいをもって取り組んでいる。小学校の教育につながっていくと感じる。</p>
4	<p>園内研究会の持ち方を工夫し、指導力の向上に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師を招き、運動遊びの指導法を学ぶ</li> <li>・年間6回の園内研究会で、学年や発達に応じた活動の指導について、参観し合い協議する。</li> <li>・協議の仕方を工夫し、グループ討議やポストイットを使って観点を明確にしながらかし合う。</li> </ul>				B	<p>昨年からの課題だったが、事前の打ち合わせをしたり、いろいろな方法で意見交換ができて、全員で前向きに取り組めた。グループ討議で深く話し合える良さ、全体討議で広く意見を聞ける良さがあるので、これからもいろいろな方法をとっていきたい。時間短縮になり、内容は濃かった。</p>	<p>職員が子どものため、指導力向上のために行っている研修の内容を、保護者は知らない。もっとアピールしてもいいのではないか。</p>
5	<p>わかりやすい情報発信に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、その時期の行事や活動に関しての写真と解説をボードに貼り出し、1週間、正門前で掲示する。</li> <li>・学期末と運動会、音楽会前に学年だよりを発行し、教育内容や子どもの様子を伝える。</li> <li>・けんこうだよりを毎月発行し、生活習慣や感染症についての情報を伝える。</li> <li>・保育室前に遊びの様子を随時掲示する。</li> <li>・毎週1回、降園時に担任からクラスの様子や活動について知らせる。</li> </ul>			<p>写真掲示を楽しみにし、子どもと会話しながら見たり、降園時の担任からの話と合わせて、幼稚園での様子がよりわかりやすくなっているようで、成果はあったと思う。感染症の情報はもっと知りたい保護者もあるが、個人に関わる場合もあり、現状で進める。</p>	A	<p>定期的に発信することに努め、計画通りに行うことができた。活動内容の意味や意図についての理解が得られ、親子の会話にも役立った。</p>	<p>幼稚園生活の様子がよくわかる。</p>

6	<p>保育参観・参加の機会を適切に設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観を年間5回、自由参観を2回行い、いろいろな活動を偏りなく参観できるようにする。</li> <li>・親子ふれあい体操を年間5回行い、運動遊びの意義を理解してもらうことや家庭でのふれあい遊びに参考にってもらうこと、我が子の身体の動かし方に関心をもってもらう機会とする。</li> </ul>			<p>多様な形態があり、機会も多いので、幼稚園で生活する子ども達のいろいろな姿を見ていただくことができ、喜んでくれた。親子体操では、我が子の知らない一面を発見できたとの声もあり、いろいろな内容を取り入れることの大切さも感じた。</p> <p>回数が多いと感じる保護者もあり、様々な捉え方があることを知っておく必要がある。</p>	A	<p>例年、様々な形態や時期を検討して今回の回数になった。様々な捉え方があるが、家庭との連携や信頼は欠かせないものであり、これからも時期や内容について、工夫しながら保護者と共に子育てに向かいたい。</p>	<p>このままでよいのではないか。</p>
7	<p>地域の教育力を教育活動に活かす</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培活動(3学年合計17種類の野菜の植え、苗植え)の指導</li> <li>・剣道(年間10回)、茶道(年間2回)、昔遊び(3日間)、グランドゴルフ、七夕こより作り、石うすでのきなこ作り、もちつき、園外散歩の付き添い等での指導</li> </ul>			<p>地域の方と一緒に活動した日は、いつも以上によく様子を保護者に話す子や、道で会って親しくあいさつする子もあり、いろいろな人と関わることで子どもの内面が育っていると感じる。</p>	A	<p>たくさんの地域の方の協力があり、多様な活動をすることができ、感謝している。子ども達も豊かな体験ができることと、人とのふれあいの温もりを感じる事ができている。今年度はグランドゴルフを2回から1回に減らし、茶道も春と秋2回ずつを1回ずつにして、内容も大事なところだけに凝縮し行った。効果的だったと思う。園外散歩を増やしていきたい。</p>	<p>自治会としても、これから協力できることがあれば前向きに検討したい。</p>
8	<p>子育て支援活動を適切に行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育の周知の徹底、利用しやすい体制作り</li> <li>・未就園児の園庭開放:毎月1日の日を開放日とし、園庭と共に保育室1室も開放する。</li> <li>・参観日、親子体操の際の園児の弟妹の託児ボランティアを募り、保護者が活動に専念できるようにする。</li> </ul>			<p>預かり保育を利用する保護者が増えている。急用にも対応していることで安心する一方、より手軽に、より長時間の利用を望む声もある。担当職員の増員は必要である。</p> <p>未就園児の活動(つぼみくらぶ)は好評で、回数を増やしてほしいという声もあるが、日程が難しい。託児ボランティアの仕組みは好評である。保護者の中で登録してもらっているが、いつも協力できる人は限られている。保護者以外の協力も考えたい。</p>	B	<p>預かり保育への要望は高まりつつある。市の方針に合わせて取り組んでいきたい。</p> <p>未就園児の園庭開放は、昨年より参加が増えた。保育室も開放したこともよかった。来年度は毎月2回に回数を増やし、より利用しやすくしたい。</p> <p>託児ボランティアは、まず今年度卒園児の保護者の中で募ってみる。</p>	<p>園児数は減ってきているが、未就園児が増えてきていることを感じる。園児の保護者だけでボランティアを募るのは難しい。地域が協力できるか、責任も生じるので検討が必要。いろいろな取組が将来の園児数増加につながればよい。</p>